学校訪問だより【2】 朝日村立朝日小学校

持続可能なボランティアでWIN-WINに

令和7年8月8日
中信教育事務所
文責：鳥居正人

７月３日（木）に、朝日村立朝日小学校の「ボランティアさんといっしょ」という活動を参観させていただきました。朝日小学校では「無理をしないボランティア活動」を大切にし、ボランティアさんは「学校のために自分のできることをやる」というお気持ちが強く、学習支援や環境整備に積極的です！

ボランティアさんの関わり（授業での様子）

■宿題の〇つけ

■学習支援（習字）

■学習支援（板書を写す）

■学習支援（励まし）

ボランティアさんが子どもを温かく包み込むような関わり、子どもの背中をポンポンと優しく励ます姿などが印象的！

子どもたちの声

◆声をかけてもらえて嬉しかった。
◆「上手だね」って言ってもらえて嬉しかった。

ボランティアさんの声

◆子どもたちの姿からすごく元気をもらって有意義な時間でした。
◆皆の中に入れてもらって、声をかけてもらって、話しかけてもらって、賑やかな時間を過ごして元気になった。

先生たちの声

◆引率の際、不測の事態への対応が心強かった。
◆調理実習では役割分担をし、担任は子どもたちの調理の様子を見て声がけや評価に専念できた。

以下は、学校職員とボランティアさんが、話し合い、一緒に考え合う中で決めた「ボランティア活動をする上での約束と大切にしたいこと」、そして活動を続けていくための「活動のポイント」です！

活動の約束・大切にしたいこと

◆様々な特性を持つ子どもたちに対して、指導ではなく見守りと声がけ
◆活動の中で知り得た子どもの情報は、家族にも話さない
◆子どもたちとのよりよい接し方
・どの子にも公平に、子どもの声に耳を傾ける
・おおらかな気持ちで子どもの良さを見つける
・丁寧な言葉遣いで、はっきり、ゆっくりと話す
◆気持ちよくボランティアができるように
・学校や先生、他のボランティアの批判など、子どもの前でも学校外でも絶対に話さない

活動のPoint

★持続可能な活動！
★自分のできることを無理のない範囲で！
（ボランティアさんも先生も）

朝日小学校がボランティア活動を続けていくために大切に考えている「学校ボランティア」と今後への期待です！

朝日小学校のボランティアとは

「子どもたちの教育のために役に立ちたい」という熱い思いを持って、学校の教育活動や環境整備活動等を支援するボランティア活動！
【大切な４つ】
①できる人が、できる時に、できることを支援する
②強制されるのではなく、自発的意思に基づいて行う
③先生や子どもと一緒に活動し、学校をよりよくする活動
④ボランティア自身の経験や専門性を活かす活動

ボランティア活動の目指すカタチ・期待

■学校からボランティアさんへ、日頃から気軽に「お願いします！」！
■子どもが自らの学ぶ主体的な学びへ！
■学校とボランティアさん、お互いに良い時間に！
■先生の要望が積極的になれば・・・
■子どもとボランティアさんの関係が密接になれば・・・
■ボランティアを身近に感じ、それぞれの強みを発揮できれば・・・
■地域とのつながりがもっと強くなれば・・・

「無理をしない！」を合言葉に、ボランティアさんの「学校のために」「子どもたちのために」という温かな姿や行動、楽しく笑顔で活動している姿は、子どもたちの成長、豊かな学び、社会性、ふるさと愛などに大きく影響すると思います。その裏には、コーディネーターの小林さんや清水教頭先生のボランティアさん同士のつながり作り、温かな声がけなど日頃からの関わりが大きいと感じました。